Q. デイサービスの休日利用ができるようにしてほしい。

A. 平成27年度から介護保険改正によって、予防(要支援1・要支援2)が市町村主体の総合事業(地域密着)へ移行され、介護保険から外れます。休日の取組等、同時に協議しながらご不便のかからないよう対応してまいります。

▲機能訓練の様子（左：踏み台で半身の強化、右：平行棒でバランス向上）

Q. 農協改革により、組合員にどのような影響があるのでしょうか。

A. 農協改革は、本来、農業所得の向上や地域の活性化に寄与するため行うものです。しかし、今回の改革は、中央会の監査制度などに議論が終始し、なぜ農業所得の向上につながるのか、不安の声が上がっております。私たちJAグループは、昨年11月に「食と農を基軸として地域に根ざした協同組合」として、農業所得の向上と地域の活性化をめざし、自己改革に取り組むこととしました。今回の農協改革を踏まえつつ、この自己改革をしっかりとやり遂げ、組合員、地域住民の期待に応えていきたいと考えております。

Q. 合併の話はどこまで進んでいるのでしょうか。

A. 平成23年度にJA秋田やまもと2JAで「山本地区JA組織再編研究会」を設立し、両JAの組織・事業等の課題、現状などを協議してきました。さらに一歩進んで合併研究会へ移行し、組合員メリット等の更なる深堀をすることとし、平成27年3月19日に「山本地区JA合併研究会」を設立しております。平成27年度から2年間、両JAの合併について協議・研究を行ってまいります。

協議事項②

野菜生産振興について

Q. 野菜を作付しようにもサルの被害に遭うので、被害にあわない品目を教えてほしい。

A. 藤里町で行われている、りんどうは、鳥獣の被害が少ないといわれ、栽培面積も増加しております。また、27年度には能代市の山谷地区でも栽培が始まりますので、ご相談下さい。

▲組織再編による経営基盤の強化を目指す

Q. 野菜振興を誘導するにあたって、営農指導の充実を図ってほしい。

A. 営農指導については、作物担当を配置しております。県振興局と連携を図りながら、青果物等の指導を行ってまいります。

▲各地域に根差した営農指導を行います

～多数のご参加と、ご意見・ご要望を頂きまして、誠にありがとうございました～